

筑波大学新聞

第297号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 萩野祥三
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

- つくばマラソン 1万3592人が走る
- 2年ぶりの優勝果たす
- 田村が4連覇達成
- 大学教育に求めるもの
- 本学卒業生が展示
- 反射鏡
- タムラサトル展
- オート
- 来年1月に開店予定

連載 4
検証 自転車海つくば

おことわり
今月号は8面構成で発行しました

本学発ベンチャー サイバーダイナ

耐放射線HAL開発

原発での活用に期待

本学発のベンチャー企業「サイバーダイナ」(本社つくば市学園南)は11月7日、放射線の被曝量を減らす重い防護服を開発した。HALはもとより歩行支援などに使われる医療・福祉用のロボットスーツで、今回開発されたのはその改良モデル。今年の7月に依頼を受けた、約2カ月で開発した。いまだに事故の収束の見通しが立たない東京電力福島第一原子力発電所など、放射線量が高い場所での作業に活用されることが期待される。



放射線防護服の重さを支える新しいHALを紹介する山海教授

現在事故の収束作業に当たっている作業員が着る白い作業服は、放射性物質の肌への付着は防いでも、ほとんどの放射線は遮ることができない。だが、放射線を遮ることでできるタンクステン製の防護服は重さが40〜60kgあり、これを着たまま長時間作業するのは困難だった。

改良版HALでは、金属の強度を上げ、重い防護服を支えるために、肩から腰にかけてフレームが追加された。足の動きに合わせて関節が曲がり、足腰を支えることで、最大60kgの防護服を着ても重さを感じない。放射線被曝量はほぼ半分に減る。1回の充電で作業できる時間は、約1時間半。量産化できれば、1台あたり年間約300万円でリースできる見込みだ。

サイバーダイナでは福島原発のがれき撤去作業など、現在でも作業員が入れられない場所での作業を想定している。原子炉建屋内など、はるかかた放射線量が高い場所で使用するために、最高性能を誇る「スパコン」京」ソフト開発に本学関わる

本学、理化学研究所(以下理研)、東京大学、富士通株式会社の研究グループがスーパーコンピュータ「京」を用いて行った研究が11月18日、スパコンのノーベル賞と称されるゴードン・ベル賞の実効性能部門で最高性能を受賞した。同賞は毎年行われるスパコン「京」ソフト開発に本学関わる

本学は最先端スパコン上で多数のCPUを有効利用するためのプログラムや、メモリを最大限に活用するアルゴリズム、百万台規模の並列処理に耐えるプログラムを開発し、システムが安定して動作するための工夫や改良を2年間にわたって行ってきた。今年4月、京の一部が試験的に使えるようになってからは、京のシステム上でさらに性能向上の高速化に貢献している。

上と大規模化を進めた。この研究グループは「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用プロジェクト(現「HPCI」の構築)開始当初の2006年から、京の活用について共同研究を行っており、今回の研究はその一環。

荒川静香さんが公開授業

人生観や職業観を語る

2006年トリノ冬季五輪金メダリストでプロフィギュアスケーターの荒川静香さんを講師に招いた公開授業が11月14日に行われた。荒川さんは「自分の意識を高めよう」という表題で、自身の人生観や職業観を語った。会場となった3A204教室は約300人の学生や教職員で満席となり、世界の舞台で活躍した荒川さんの言葉に熱心に耳を傾けていた。

今回の講義は未来構想大講義「勇者の鼓動―未来を創るスポーツ王国論―」の一環。これまでも海洋冒険家の白石康次郎さんや元水泳選手で俳優の藤本隆宏さんなどを講師に招き、スポーツを通じた起業やビジネスについての講義を行ってきた。

荒川さんはスケートや勉強、アルバイトなど多くのことを両立していた自身の大学生活の生活を紹介。自分の努力を示すには結果を出さないとはいけない。自分に言い訳をして自分に甘くなることもできるが、それで結果を出せるわけではない。どうすれば結果を出せるかをずっと考えていたと話した。

また、自己評価と周囲の評価が大きく異なり、一時期メディア嫌いになった過去も紹介。周囲と自分の評価の差に関して「周囲は順位や結果しか見ない。自分自身がやっていることを信じる力が弱い間は、周りに感化されることが多かったが、メディアなどに向き合っていくことで、新しい角度から対処できた」と物事に対する見方を委ねることで、新たな可能性を知ることができると語った。

現在荒川さんはプロのスケイターとしてさまざまなアイスショーに出演しつつ、「フレンズ・オン・アイス」というアイスショーをプロデュースしている。講義では受講生がアイスショーのビジネスプランについて提案する企画もあった。アイスショーのチケット代は6000円から2万円と高く、なかなか観客が集まらないという現実がある。「アイスショーに興味がある人をボランティアで運営スタッフとして採用すれば人件費が抑えられ、チケットが安くなる」という受講生のプランに荒川さんは「人件費が抑えられるだけ

自分で、より近いところからアイスショーに触れることができるプランだ」と応じた。講義の最後に「自分を常に見つめることで、自分と向き合い、今を大切に生きていくことができる。一日一日を大切に精一杯楽しんでほしい」と話した。

この授業を受けた伊東佳穂さん(生資2年)は「自分の将来を考える上で、いろいろなことを手抜きせずに行っていくと思うようになった。私もバイトやサークルなど掛け持ちしているが、どれも本気でやっていた」と話した。



つくば歳時記
初冬、すっかり葉が落ちた駅前木々に、やさしい光の雪が降り積もる。厚着の子どもたちが駆け回り、恋人たちが足を止めて美しい景色に見とれる。(撮影・中島光夫=情報科学類)

今年もつくばマラソンが開かれた。本学には「つくばマラソン」という授業があり、毎年200人もの学生が受講、筆者も初のフルマラソンに挑んだ。4時間31分06秒で完走した達成感は格別だった。だが、30kmからは足に乳酸がたまり、経験したことのない足の重さに苦しんだ。こどもも楽しい42.195キロで走った。朝7時から一人で走った。練習量を増やそうと膝を痛め、1カ月走れなかった。6月、暑さを避けて深夜に黙々と走った。完走するんだという気持ちで孤独な私を突き動かした。レース中は1人ではなかった。治道からは多くの声援。声をかけられるとなぜか力が湧いてくる。同じTシャツを着た「つくばマラソン」の受講生は名前がわからなくても、「がんばれ」と声を掛け合い、レース後も健闘をたたえ合った。共通体験が新たなつながりを生んだのだ。現代は人と人との関係が希薄な「無縁社会」と言われる。だが、マラソンで感じた絆は無縁社会を打破する希望の光だと確信した。今後はいろいろな人に声をかけてみようと思う。もしかしたらその人は1カ月誰とも話をしていない人かもしれないから。

第5回つくば3Eフォーラム

つくば発の震災復興支援を

環境・エネルギー分野の研究紹介
つくば市ができる貢献を議論も

第5回つくば3Eフォーラム(主催)つくば3E市竹園)で開かれた。12日フォーラム委員会、筑波大が、11月12、13日につくば市が「震災を経た



漢類エネルギーの持つ可能性を語る渡邊教授

つくばが未来の日本に貢献できることをテーマに、本学教員やつくば市職員、各研究機関の研究者による講演が行われた。環境問題やエネルギー問題などの対

で研究開発が進められていることが紹介された。また「漢類から生産されたオイル」を生かしたまちづくりを行うことができると渡邊教授は話した。会場の外では、漢類由来のオイル30%を含む燃料で動く耕運機の実演も行われ、来場者の注目を集めた。

また、13日には、山海嘉之教授(スウェーデン)による「未来開拓のためのロボットの可能性」の講演が行われた。H.A.L.は、山海教授が医療・福祉用に開発したロボットスーツ。脳卒中を二度患い、歩行は困難である

と、会場からは驚きの声が上がった。また、放射線被曝量を低減するために新たに開発されたH.A.L.が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていた。(一面に関連記事)

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

全学的ネットワーク構築
支援活動の円滑化を図る

東日本大震災の復興支援のため、本学は11月24日、東日本大震災の被災地域の復興・再生に向けた支援活動組織として「復興・再生支援ネットワーク」を発足させた。

復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

また、復興・再生支援活動の一環として、本学はつくば市、北茨城市、福島県いわき市、伊達市と震災復興事業に関する協定を締結した。この協定により、教職員が被災地域に直接赴いて調査などの活動をより円滑に行えるようになる。復興・

つくばマラソン
1万3592人が走る
本学からも多数参加

エコシティ(第31回)つくばマラソン(主催)本学・つくば市などが11月27日に行われた。42・195キロのフルマラソンと10キロの部門が行われ、1万3592人のランナーが参加し、本学構内を発着点に、晩秋のつくば市内を力走した。



続々とゴールするランナーたち

フルマラソンは本学をスタートし、北部工業団地を経て陸上競技場へ戻るといって走られた。同大会のようである。同大会のようである。同大会のようである。

早くも疲れてしまったが優勝できてうれしかった。1位を狙ったのはなかった。手はフルマラソンのスターターもつとめ、ランナーに激励を送った。

科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業ERATOの五十嵐ザインタフェースプロジェクトで研究を進めている本学の三谷純教授が、その部品図はソフトが自動的計算される。これをレーザーカッターなどで切り出し、手順に従って組み立てれば完成だ。椅子だけでなく、テーブルやベッドなどの家具への応用に期待されている。

三谷純教授らグループ
椅子デザインソフトを開発
誰でも簡単に操作

海外ではこのソフトで作ったデータを工場で加工することで、実際の椅子を提供するというビジネスが立ち上がるとしている。三谷純教授は「既存の家具を買い替えるのではなく、自分でデザインして作るというものが、誰かが自由にできるよくなれば」と話した。



手紙

筑波大生の皆さん、初めまして。今回は、読者である学生の皆さんが、今後するであろう就職活動に関して、私の仕事での経験を通じて感じたことをお伝えできればと思いい、この記事を書かせて頂きました。

品賞会議) (http://www.5wscq.org/en/home.html) というカンファレンスに参加してきました。このカンファレンスは、アメリカ・アジア・ヨーロッパのコミュニティが中心となり、全世界のソフトウェア品質の専門家が集まり幅広く議論を行う国際会議です。3年毎に開催されており、第5回目となる今回は、初の中国(上海)での開催。全体としては、5日間かけて52人のスピーカーによる各企業や研究における品質改善の取り組みが発表されたのですが、著名な経営者や、第一線で活躍するエキスパートによる基調講演のほか、ソフトウェア品質に関する議論を交わすグループディスカッションなど、盛りだく

皆さんの内容でした。さて、私自身も、大学院を修了後、現在の会社に入社し、大規模ミッションクリティカルシステムの開発リーダーを経て、現在は主にソフトウェア開発のプロセス、品質改善活動やコンサルティングを行って来ています。最近では、ソフトウェア関連の技術雑誌の取材を受ける機会も出てきました。なぜ、この5WCSQへ参加したかという点、以前に、日本国内で行われたカンファレンスで発表した論文がベストスピーカー賞に選ばれたことがきっかけでした。そのときの論文が元で、今回のカンファレンスへの参加に、コミュニティの



Acroquest Technology 株式会社
鈴木貴典さん
World Congress for Software Quality (世界ソフトウェア品質)

自分の可能性を広げる
平成13年度構造エネルギー(工学専攻) 卒業生

を、自由に映像を通して受講できることが最大の特徴。教員側にも他の教員の授業を自由に視聴し、授業内容に生かせるメリットがある。複数の大学の連携を可能にし、高等教育の質向上に寄与できる取り組みであることを評価され、今回の受賞に至った。

反射鏡

研究と共に

教育も重視

田幡琢磨(人文3年)

「先生が自分の話したいことだけを話しているのではないか」ということをだまに感じます。学類はそれぞれに3つのポリシー、学位の授与方針(DP)、入学者選抜の方針(AP)、カリキュラム策定の方針(CP)を定めているはず。その中で自分の受け持つ授業がどのような位置づけで、どのような役割を果たすのか、明確に考えた上で授業をしてほしいと考

改革が目的化 明確な理念を

偶田聖彦(国総4年) 忘れてほしくないのは、大学というのは、教員、職員、学生、行政によって構成されているということ。学生が入ってこなければ、教員の研究の場も職員の仕事も無くなってしま

なく今以上に教育にも力を入れること、その助けをするために、大学研究センターを筑波キャンパスに移転することを望みます。 働く。だから、大学院のことはよく知らない。大学教育に求めるもの」とテーマを頂いたが、もっぱら学群教育についてだけ考え

た。 学士号を持つ人にとって、体系ある教養は専門性と同じくらい大切だ。だがその割に、筑波大学全体の教養課程は短く分散しているように、それが何を目標としているのかわからない。そこが問題だと思う。 今年から始まった教養科目制度改革を伝える筑波大学新聞299号(2011年4月発行)を読むと、文理融合の理念を進めることか、さまざまな外国語の学習を通して教養を豊かにする」という言葉が躍っている。文理融合も教養も

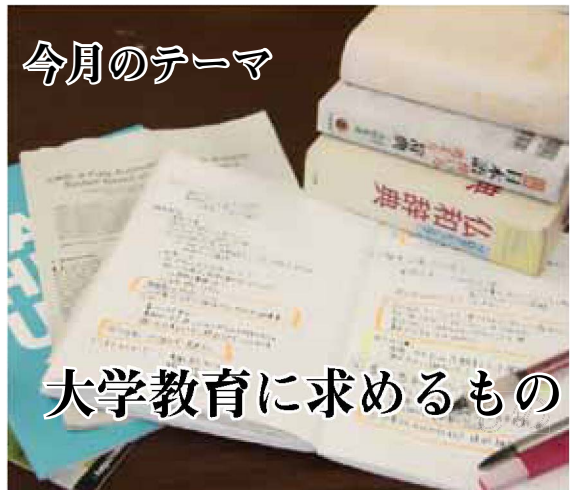
私に勉強不足が原因かもしれないが、もっと一般人も分かりやすい内容で授業を行ってほしい。 私は他に社会学類、社会学類、芸術専門学群の授

業を受けてみた。専攻の授業も、学生が一方的に聴くだけの授業にならないように内容を融通性良く変えていくことである。先生が何かを質問しても学生は皆黙って席に座っているだけ。消極的な学生や私のような留学生は授業

教育の内容で大学に求めるものは、学生が一方的に聴くだけの授業にならないように内容を融通性良く変えていくことである。先生が何かを質問しても学生は皆黙って席に座っているだけ。消極的な学生や私のような留学生は授業

なり、何を目指すべきなのかわからなくなってしまう。だが、開学からもう少しいたのではないだろうか。改革は焼畑と同じだ。やせた土地に更りは少ない。やりすぎる土地がやぶのようにあり、新しいカリキュラムが毎年のように生

を耕すことを考えた方がいいのではないだろうか。 授業の進め方など教育の法においては全然変化してないことが先輩や後輩を通じても分かった。しかし、他の授業はさまざまな視聴覚資料を使って授業方法を



大学のテーマ 大学教育に求めるもの

筑波大学に入学してから、3年の月日が流れた。1年生になったばかりの気持ちを今考えてみると留学期間を今も何となく心配も、悩みもなかったように思われる。素直に言う、日常生活の日本語であまりトラブルがなかった。しかし、実際授業を受けてみたら現状は違った。

筑波大学に入学してから、3年の月日が流れた。1年生になったばかりの気持ちを今考えてみると留学期間を今も何となく心配も、悩みもなかったように思われる。素直に言う、日常生活の日本語であまりトラブルがなかった。しかし、実際授業を受けてみたら現状は違った。

私に勉強不足が原因かもしれないが、もっと一般人も分かりやすい内容で授業を行ってほしい。 私は他に社会学類、社会学類、芸術専門学群の授

業を受けてみた。専攻の授業も、学生が一方的に聴くだけの授業にならないように内容を融通性良く変えていくことである。先生が何かを質問しても学生は皆黙って席に座っているだけ。消極的な学生や私のような留学生は授業

教育の内容で大学に求めるものは、学生が一方的に聴くだけの授業にならないように内容を融通性良く変えていくことである。先生が何かを質問しても学生は皆黙って席に座っているだけ。消極的な学生や私のような留学生は授業

なり、何を目指すべきなのかわからなくなってしまう。だが、開学からもう少しいたのではないだろうか。改革は焼畑と同じだ。やせた土地に更りは少ない。やりすぎる土地がやぶのようにあり、新しいカリキュラムが毎年のように生

を耕すことを考えた方がいいのではないだろうか。 授業の進め方など教育の法においては全然変化してないことが先輩や後輩を通じても分かった。しかし、他の授業はさまざまな視聴覚資料を使って授業方法を

筑波時評

TPPが締結されれば、国内農業に壊滅的な影響を及ぼすことが懸念される。農林水産省は、食料自給率が現在の40%から14%に低下すると試算している。アメリカのコメやニュージーランドの乳製品などに、日本の農産物は競争力を持たない。農協の代表は、TPP反対の集会で、鉢巻をしてごしを振り上げる。農業者にとって死活問題ではあるが、消費者の共感を得る方法とは言

性急な交渉参加は疑問 性急な交渉参加は疑問

TPPと農業 日本農業は現在においても既に衰退の道をたどっており、いずれは大幅に生産縮小すると一般に理解されている。農業者の主体的な努力なしに、ただ保護を求めるの

はおかしいと感じる国民も多いだろう。TPPの賛否に関わるマスコミ調査では、「分かる」「いい」の比率が高いものの、賛成が反対よりも多くなっている。この背

景には、多くの国民が、日本農業が衰退することやむなし、あるいはいづれにせよ再生は難しいと判断していることが想定される。 TPPの内容は少しずつ国民に知らされてきて

いるが、関税撤廃により公正な国家間の競争が行われるというのは、農業部門では幻想である。まず、米国と日本での農業生産の規模が異なる。2007年の米国農場の平均農地面積は169ヘクタール、日本の1/30倍である。次に、米国は不足払い制度のもとで、膨大な農業保護を行っている。この状態のまま関税を撤廃し、二重の不正さの中で競争を行うことに意味があるとは思えない。

今後の日本農業は、早急に体質強化を図っていく必要がある。現在でもその向かうべき方向は見えてきている。年間の39歳以下新規就農者1万5千人の約3割が非農家出身であり、農業の門戸が開かれつつある。09年の農地法改正により、株式会社等の一般法人にも農地利用権が認められるようになった。コ

レ、日本の1/30倍である。次に、米国は不足払い制度のもとで、膨大な農業保護を行っている。この状態のまま関税を撤廃し、二重の不正さの中で競争を行うことに意味があるとは思えない。

今後の日本農業は、早急に体質強化を図っていく必要がある。現在でもその向かうべき方向は見えてきている。年間の39歳以下新規就農者1万5千人の約3割が非農家出身であり、農業の門戸が開かれつつある。09年の農地法改正により、株式会社等の一般法人にも農地利用権が認められるようになった。コ

レ、日本の1/30倍である。次に、米国は不足払い制度のもとで、膨大な農業保護を行っている。この状態のまま関税を撤廃し、二重の不正さの中で競争を行うことに意味があるとは思えない。

人々との絆と縁が魅力

ベトナムのハノイに住み始めて8カ月が経とうとしています。4月から大学を一年間休学してボランティア団体が運営する恵まれない子供たちのための仮設の学校で5カ月間料理を作り、9月から別の団体で現地のベトナム人ともボランティアをしています。

街の中心部を流れるホン河流域には学校に行くための出生証明書のない子供たちがたくさん住んでいます。経済発展の中、地方から上京した親が仕事を失われなかつたため彼らは川の上に簡素な家を浮かべて生活しています。

貧しくて恵まれない子供たちで、人々との絆と縁が魅力

ベトナムの友人と1枚



ベトナムの友人と1枚

ベトナムの友人と1枚

ベトナムの友人と1枚

世界の教室から

国際ボランティア (ベトナム) 加藤茂行

ベトナムのハノイに住み始めて8カ月が経とうとしています。4月から大学を一年間休学してボランティア団体が運営する恵まれない子供たちのための仮設の学校で5カ月間料理を作り、9月から別の団体で現地のベトナム人ともボランティアをしています。

街の中心部を流れるホン河流域には学校に行くための出生証明書のない子供たちがたくさん住んでいます。経済発展の中、地方から上京した親が仕事を失われなかつたため彼らは川の上に簡素な家を浮かべて生活しています。

貧しくて恵まれない子供たちで、人々との絆と縁が魅力

貧しくて恵まれない子供たちで、人々との絆と縁が魅力

投稿募集

みなさまからのご意見をお待ちしております。

次号のテーマは 忘れられない出会い です

TEL 029-853-6000
E-mail shinbun@sakura.cc.tukuba.ac.jp
Twitter @tshinbun

アートギャラリーT+ 卒業生のタムラサトル氏が展示

斬新な世界観を表現 トークイベントも行われる

本学OBで現代美術家のタムラサトル氏の作品を展示する「6A214」のため



まはゆい光を放つ「6A214」のための接点

11月10日に開催された。11月10日は、タムラ氏とアートプロデューサーである小田井真美氏によるトークイベントも行われ、現在のアートシーンについてなどが語られた。アートギャラリーT+は、芸術系の学生・教職員の制作の発表の場として設けられている。

タムラ氏は、目標や主張を持たない、「作品そのものが目的」という考えのもと、インパクトの強い芸術作品を生み出している。今回展示された「6A214」のための接点」もまた、とても印象深い作品だ。回転するチェーンから吊り下げられた金属の棒が、金属板をすることで接点部分から火花を散らす。そして同時に、壁に取り付けられた大小さまざまな白熱灯が点灯する。金属の棒が金属板から離れると同時に白熱灯の光は消えるが、ベル

今井凌雪氏遺作小品展 遺作14点を展示 作風の魅力を伝える

今年7月に逝去した本学名誉教授今井凌雪氏の遺作小品展が、大学会館アートスペースで10月18日-12月11日まで開催されている。今井氏は東京教育大時代の1971年から86年まで本

トコンベアに合わせて、再び火花が散る。その動きが延々と繰り返されていく。展示を見た女子学生は「不思議な作品だった。電

気がついている状態を作品にするのではなく、一連の動きそのものを作品としているのに驚いた」と語った。タムラ氏は芸術専門学群総合造形領域を平成6年度に卒業。今回の展覧会は、昨年行われたT+スタッフの同氏へのインタビューがきっかけとなり実現した。

学教授を務めた。展示会では、その遺作14点が展示される。会場に展示される作品は、大筆で大胆に書かれたものから、扇形や円形の紙に小筆で書かれたものまでさまざま。それぞれが異なる趣を持ち、個性豊かな作風を築き上げてきた。遺作展を鑑賞した橋口真子さん(芸専3年)は「自分が普段書いている作品と時代が近い先生の作品の墨の入り具合が好き」と話し、作品に見入っていた。

今井氏は奈良県文化賞、日展文部大臣賞、日本芸術院賞など数々の賞を受賞。故黒澤明監督の映画「乱」の題字「夢」を「まあだだよ」の題字を書いたことでも有名。NHKの趣味講座への出演などを通して、書道の社会への普及に務めた。あらゆる古典派の名跡を



独自の書風に見入る来場者

夏鳥として愛される、スズメ大の野鳥・キビタキ。秋の訪れと共に越冬地である東南アジアへとこの小さな体で旅をする。またあどけなさが残る写真の個体は、そんな渡りの途中で市街地に立ち寄ったのだらう。撮影者の話では窓ガラスに衝突したのち飛び去ったという。野生生物の動線を妨げない街づくりと、この個体の無事な旅を望んでやまない。(写真：田中裕人、生資3年、文芸松尾恵梨子、生物3年、野生動物研究会)

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

猛暑、豪雪、集中豪雨……異常気象は、なぜ起るのか。これからの気候はどのようなようになるのか。それらを読み解くためには、地球規模の気候システムの中で複雑に影響しあっている大気や海洋、陸面などの様々なサブシステムを理解することが必要である。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。問い合わせ＝tsukuba_orch@gmail.com

最新の地球温暖化予測とその解釈、エル・ニーニョ、モンスーンなどの複雑な相互作用を、豊富なデータを交えながら詳説する。執筆者は本学生命環境系准教授。A5判並製、約270ページ、価格未定。2012年1月下旬刊行予定。

読み解く気候変動― 植田宏昭 著

第1位・第2位には、今年10月に死去したステイブ・ジョブズの伝記がランクインした。本人が唯一取材に全面協力した公認の伝記で、死去後に発表されただけに、読者の強い関心がうかがえる。

12月は、成美堂・洋泉社の就職本15%オフフェア、朝倉書店15%オフフェア、オンライン・ジャパン(コンピュータ書)15%フェアが開催されている。

大学院博士後期課程芸術専攻の学生らによるDC展が、12月27日(火)―1月9日(月)、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開催される(12月29日―1月1日、4日は休館)。18人の学生の洋画・日本画・彫塑・書の作品が展示される。入場無料。午前9時半―午後5時(最終日は午後6時まで)。問い合わせ＝minami122jp@yahoo.co.jp(樽井)

筑波大学応援部WINS単独公演「桐華祭」が12月22日(木)、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催される。

WINSは普段運動部の応援や学内でのステージを行っているが、今回の公演は初の単独ステージとなる。演目は筑波大学応援歌や学生歌「常陸野の」、チャダンスなど。入場無料。午後6時半開場、午後7時開演。

筑波大学管弦楽団プロムテードコンサート2011が、12月29日(日)、ノバホールで開催される。G・ウェルディの「歌劇『ナブッコ』序曲、C・M・ウェバーの「歌劇『魔弾の射手』序曲」作品77などを演奏する。入場

世界ジュニア選手権大会

遠藤、背負い投げで優勝決める



遠藤宏美

世界ジュニア柔道選手権大会が11月3-6日に南アフリカ・ケープタウンで開催され、遠藤宏美(体専1年)が48kg級で優勝を果たした。

柔道



西山・緒方・森下も好成績 五輪出場に期待高まる

世界ジュニア柔道選手権大会が11月3-6日に南アフリカ・ケープタウンで開催され、西山大希(体専3年)が3位に、78kg級で緒方亜香里(同)が準優勝に輝いた。

柔道部の増地克之監督(体育・講師)は「力量的にも遠藤は勝って当然。しかも、取りこぼすことなく優勝できたことは良かった。世界をこれら目指すにあたって、世界ジュニアのタイトルは重要になるだろう」と語った。

田村4連覇果たす 高橋、堀口も準優勝

第17回全日本ラト競技選手権大会が11月12、13日に東海大学開発工学部体育館(静岡県沼津市)で開催された。本学勢は、男子の部では田村元延(体育2年)が個人総合で優勝、高橋靖彦(同)が準優勝、女子の部では堀口文(体専3年)が個人総合で準優勝するなどの好成績を残した。

このうち田村は個人総合4連覇ならびに全種目で優勝するという快挙を成し遂げた。田村は「個人総合で4連覇したことは率直にうれしく思う。7年間のラト生活で多くの人に支えら

れていることを改めて実感している」と語った。女子の部では堀口が個人総合準優勝のほか、種目別直点、跳躍で優勝を果たした。「直転で9点台、跳躍で8点台を目指して練習していたので、その目標が達成できてよかった」と堀口は語った。

全日本女子学生剣道優勝大会 2年ぶりの優勝果たす 男子 新人戦大会でベスト8

第30回全日本女子学生剣道優勝大会(主催=全日本学生剣道連盟/毎日新聞社)が11月6日、春日井市総合体育館(愛知県春日井市)で行われ、本学が2年ぶりに8度目の優勝を果たした。初戦の広島大、続く東京農工大をどちらも3-0で破り、決勝では東海大と対戦した。副将の里井西(体専3年)まで引き分けのまま大将戦となり、三苫(同4年)が相手の小手をかわし、面終了際には小手を決め、勝利を勝ち取った。三苫は「学生生活最後の試合ということで気持ちが入り、充実した試合ができた。ここまで来れたのは選手ではない4年生とも団結し、励まし合えたから」と笑顔を見せた。

関東サッカーリーグ 専修大に敗れ3位 インカレ出場決まる

第85回関東サッカーリーグ後期日程が、9月9日-12月5日に行われた。本学は12月1日現在、前期の結果と合わせて、10勝5敗6分で3位につけている。本学は今季、第15節まで好調をキープし、首位を

関東サッカーリーグ 専修大に敗れ3位 インカレ出場決まる

走っていた。しかし10月29日に行われた第16節、中央大戦。終盤まで3-1とリードしていたが、後半40分にゴールを許し、1点差は12月1日現在、前期の結果と合わせて、10勝5敗6分で3位につけている。

弓道 ともに優勝 女子団体・個人

第43回関東学生弓道選手権大会決勝大会が、11月6日に東京武道館(東京都足立区)で行われた。本学女子は団体、個人ともに優勝を果たした。

チーム一丸のラグビーを目指して

15人の選手が1つになり、ボールを扱うラグビー。その中でボールをタッチラインへ運び、トライを奪うのが竹中祥(体専1年)の役割だ。



33年ぶりの早稲田大戦勝利に貢献 竹中祥(体専1年)

竹中祥は10月23日に行われた早稲田大学戦に左ウィングとして出場。右ウィングの彦坂匡克(同3年)とともにトライを奪い、勝利に大きく貢献した。

休日の過ごし方については「家事をするのが好きで、洗濯や掃除をしながら休むを取っている」と語る。性格は温厚でポジティブ。人を決して責めることはない。

追加点を許し、0-3と大敗を喫した。この結果、専修大との勝ち点差は3に。得失点差が大きく開いているため、本学の優勝は難しくなった。

立競技場(東京都新宿区)などを会場に行われる。個人成績では12月1日現在、赤崎秀平(体専2年)が10得点で、得点ランキング3位。上村岬(同)が5アシストでアシストランキング3位につけている。

市民に参加・協力呼びかける

アドバイザーも募集中

本学生が運営の主体となり、来年3月10日に開催される「ふるさとつくばゆいまつり」の記者会見が11月9日つくば市役所で行われ、祭の概要説明と市民への参加協力の呼びかけがなされた。



実行委員会のメンバー（前列中央が守屋さん）

実行委員会ではステージの飲食店には、『祭の日たけしかな』特別な料理を

作ってもらいたい。それは、企画段階から市民の声を取り入れてほしい」と話した。祭で多くの人にその店の料理を食べてもらい、地域の飲食店を盛り上げ、住民同士の結びつきを深めたいという。

運営の手伝いをしてくれる「市民アドバイザー」も募集。市とのやり取りや祭の準備の中で、実行委員会に助言を行うのが役割。学生が普段なかなか接する機会のない地域住民との交流の橋渡しにもなるとも継続する新しい「つくば」

メッセージソング PV 撮影

約200人が収録に参加 和やかな雰囲気撮影進む

本学のメッセージソング「IMAGINE THE FUTURE」未来を想定の2011年度版プロモーションビデオの撮影が、11月16日に右の広場で

行われた。会場には留学生を含めた学生や教職員約200人が訪れ、収録に参加した。



笑顔で合唱する山田学長と学生

から一音に学生が駆け寄り、歌うシーンなどが撮影された。参加者全員で肩を組み笑顔でメッセージソングを歌い上げるなど、撮影は終始和やかな雰囲気の中で行われた。参加した橋本昌枝さん(知識図書1年)は

「ついイベントがもつとある」と話した。撮影を企画した清水鈴沙さん(芸専3年)は「メッセージソングに対してあまり関心がない学生が多い中で、たくさんの方が集まってくれてよかった。もつとこの曲に親しんでほしい」と話した。

交通事故

落ち葉に注意

大学周辺で10月4日の早朝、バイクがスリップし、運転手が肋骨を損傷するという事故が起こった。スリップの原因は道路に積

もった落ち葉とみられている。学生生活課では「この時期の道路には落ち葉が多く積もっており、朝と朝露で濡れている場合がある。自転車やバイクのタイヤがスリップして、事故につながる危険性が高い。落ち葉が積もっているところでは徐行したり、避けたりなどの対策をしてほしい」と注意を呼び掛けている。

ラグビー 日本体育大学に快勝 5勝1敗で暫定3位に

ラグビー関東大学対抗戦の日本体育大学が11月19日に江戸川区陸上競技場(東京都江戸川区)で行われ、39-3で快勝した。本学は12月1日現在、5勝1敗で暫定3位。

当日は豪雨の中で試合が始まった。開始直後に彦坂匡克(体専3年)がトライを決める。日本大のオフエンスを激しいタックルで押し返し、前半が終了した時点で10-3。後半でも雨は止まず細かなミスが続いた。

バスケット 好惜しくも3位

バスケット

第63回全日本大学バスケットボール選手権大会が、国立代々木競技場体育館(東京都渋谷区)などで11月21-27日にかけて開催された。男子はベスト16、順調に勝ち上がった。

女子は3位の成績を残した。女子は21日に札幌大と対戦。力強いプレーで大量得点し、121-48のダブルスコアで勝利した。2回戦は天理大と戦い、68-76で惜しくも敗れた。

Spice up cafe ALDOR

本学生が主体で運営 来年1月にオープン

本学生が主体となって運営するカフェ「Spice up cafe ALDOR」が2012年1月14日にオープンする。店舗は、

「ALDOR」に由来しており、全その人に開かれた空間でありたい、新しいドアを開いて未知の世界へ

一歩踏み出し、新たな気づき発見を得てほしい、という思いが込められている。店舗では、ドリンクや食べ物の提供だけでなく、イベントを開催できたり、作品展示が行えたりするなど、誰でも気軽に利用できる空間にする予定だ。

メニューも、つくばの地名物つくば餅や、つくばの店から仕入れたコーヒーやデザートを提供する。つくば市は、研究学園都市、国際都市、科学の街と称されるなど、さまざまな魅力がある。しかし、その魅力に気づいていない人も多く、それらの良さを存分に生かしてあげたいという思いが込められている。

オープンまで1カ月近く物づくば餅や、つくばの店から仕入れたコーヒーやデザートを提供する。つくば市は、研究学園都市、国際都市、科学の街と称されるなど、さまざまな魅力がある。しかし、その魅力に気づいていない人も多く、それらの良さを存分に生かしてあげたいという思いが込められている。



「また、何か持ってるわね。はーはー」
「あー！わかった！お雑煮を炊くのに薪を集めてきてたんじゃー」
「ふふー、白を作るんだ！薪集めはもうすんでるよ。」
「ふーん」
「てっ手伝う？」
「はい、来年も大変だわ...」

「ゆるくのたまちゃん」は、ゆるい雰囲気の中、学生生活のリアルな側面を描き出す。キャラクターの会話を通じて、学生生活の楽しさや苦労が伝わる。

「ゆるくのたまちゃん」は、ゆるい雰囲気の中、学生生活のリアルな側面を描き出す。キャラクターの会話を通じて、学生生活の楽しさや苦労が伝わる。

「ゆるくのたまちゃん」は、ゆるい雰囲気の中、学生生活のリアルな側面を描き出す。キャラクターの会話を通じて、学生生活の楽しさや苦労が伝わる。

写真部 さくら組

写真部は学群生から大学院生まで幅広く、学類や専攻もさまざま。それぞれが得意とするジャンルがあり、個性豊かな写真が撮られる。

写真部は学群生から大学院生まで幅広く、学類や専攻もさまざま。それぞれが得意とするジャンルがあり、個性豊かな写真が撮られる。



一瞬の魅力を求めて

写真の魅力は、瞬間を捉えることにある。部員たちは、様々な場面で撮影を行い、その瞬間の魅力を表現しようとしている。

Who's Who?

漫画「爆弾にリボン」の作者

山本美希さん(芸術後期1年)



デビュー作「爆弾にリボン」を持つ山本さん

スケッチブックを抱え、家を飛び出す。時折筆をとり、気の向くままにいろいろと描く。「家にこもるより、雑踏に身を置く方が性に合う」。漫画家として活動する山本美希さん(芸術後期1年)は、そう語る。

芸術専門学群の卒業制作が、デビューの契機となった。吹き出しやセリフがない漫画「爆弾にリボン」が、「菱ケミカル・ジュニア・デザイナー・アワード」で2009年、日比野克彦(東京芸術大学教授)による審査員特別賞

漫画通し自分の表現を追求 女性の生き方描き出す

受賞。後に即売会、編集者の目に止まり、今年7月「爆弾にリボン」のタイトルで単行本化された。作中では、主人公の女子中学生が不安や葛藤を抱きながらも、「大人の女性」になることを選択する。その過程を文章なしで、イラストの流れだけで描き出す。山本さんも中学生の頃に思春期を迎え、体が女性的に変化していく中で、大人の女性になっていく自分を、なかなか受け入れられなかった。「社会に出る前に当時の気持ちを作品にした」と考え、テーマを選んだ。

「女性の生き方」という題材は、その後の作風にも通じている。さまざまな背景や環境に身を置いて、女性たちがどう振る舞うのかを表現する。講談社主催の「第29回マンガオナーン大賞」に選ばれた「サニー・サニー・アン」の主人公は外国人で奔放な性格だ。自分とは全く異なるキャラクターの生き様を見てみたい、との思いで描いた。子どものころから少女漫画が好き

進学後2年間で12回もの展覧会に参加した。即売会にも積極的に出店した。編集者と知り合い、作品を売り込むことができ、仕事ももたらした。「プロや読者から思いがけないフィードバックを得る機会にも恵まれ、より良い漫画をつくる工夫につながった」と山本さんは語る。作品づくりにも集中でき、多数のコンペティションやコンクールに応募、受賞して雑誌に掲載された。着実にキャリアを歩んでおり、現在いくつかのプロジェクトを請け負っている。どんな漫画を描いていきたいと意気込む山本さん。「尊敬する岡崎京子さんの作品の、さらに先を行くものを作りたい」と夢を語りながらも、「自分にはまだまだと遠慮がちな」(宇治田輝之「国際総合学類」)

編集後記

編集期間の真っ只中、私はつくばマラソンに出場しました。着たTシャツには編集部員が書いたメッセージが。しかし、何よりも上に書かれたのは「12月5日発行」。私は走る広告塔の役割を背負わされたようでした。

抜群の安定感でみんなから頼りにされたN津副編集長、細かい気配りでみんなを支えてくれたH木さん、誰よりも大学新聞の未来を考えていたM田君、留学から帰ってきて、先輩としての目線でアドバイスをくれたU治田さん、O野さん。厳しくも温かく指導をしてくれた顧問の先生、活動のサポートをしてくれた広報の方々、そして読者の方々、多くの人に支えられて編集長を務め上げることができました。

次号からは叱咤激励のうまい編集長のもと、よりよい新聞をお届けできることでしょう。(編集長・西川大照) 社学3年

次号は
2月6日(月)
発行予定です

耐放射線HALを開発



旧谷田部庁舎での実演の様子(写真提供=サイバーデザイン)

1面へ

学内総合

荒川静香さん、公開授業



講義後に学生と言葉を交わす荒川さん

1面へ

学内総合

晩秋のつくばを駆ける



声援を受けながら、ランナーたちは一斉に走り出した

2面へ

学内総合

ラート 個人総合4連覇、全種目で優勝



全日本ラート競技選手権大会で演技する田村(写真提供=体操部)

6面へ

スポーツ